

## 第2回 美しい日本のむら景観コンテスト

### 農林水産大臣賞

生産部門

黒い浜

さかのせき おおいたし  
大分県 佐賀関町(現大分市)



佐賀関町は、佐賀関半島の先端に位置する漁業の町で、近年では、アジやサバのブランド化が進められ「関あじ・関さば」として全国に知られている。

四国の佐田岬を望む関崎(せきざき)に、白い砂の白ヶ浜(しろがはま)と黒い砂の黒ヶ浜(くろがはま)がある。隣接していながら全く色が違う砂浜は、全国的にも珍しく、平安時代から知られる景勝地となっている。

黒ヶ浜には、まだ肌寒い3月のヒジキ漁解禁の朝、収穫されたヒジキがその日のうちに干される。いつもは黒い玉石だけの浜をより一層黒くみせ、さながら黒い絨毯(じゅうたん)のようになり生産と自然景観が一体となった景観を形成している。すぐ近くまできている暖春を待つ家族が戯れ、この後、テングサの赤紫の絨毯に替わり、イカ釣りの灯火が置きに灯る頃には夏を迎えることとなる。